



サマリヤの女のイコン

広報 なかわだ

第 331 号

2 月の予定

委員会	2 月 11 日
ヨゼフ会	2 月 18 日
クリストファー教会との合同祈禱会	2 月 18 日

委員会だより

△ 1 月 14 日 (日) 11 名出席▽

■ 議事内容

〔1〕行事計画

＊信徒大会 1 月 28 日 (日) ミサ後

〔2〕2007 年度信徒大会議事に関する準備内容審議

a. 06 年度行事報告・決算報告…

甲斐さん、山本さんをお願いする
決算は 1 / 10 に監査人 (上野さんに

委嘱) による監査が、鈴木神父、委員長、財務担当委員立会いのもとに行われ、問題無きことを確認済。

・決算内容のポイントについては後述の財務 G 報告を参照

b. 07 年度行事計画・予算… 甲斐さん、山本さんをお願いする

・07 年度行事の目玉は 6 / 10 開催予定の堅信式。典礼、宣教、行事各グループ及び事務局にて準備を開始する

・「敬老のお祝い」については種々ご意見あり。検討していく。

・教会庭掃除 (庭木剪定など) については 8 月 ↓ 11 月に変更する。

・予算内容のポイントについては後述の財務 G 報告を参照

c. 今年度教会委員の紹介… 福島さんをお願いする

d. 「中和田カトリック教会委員会運営規定改定と教会委員公募方法の変更」説明 ↓ 下村さんが行う

e. 各運営グループからの報告… 営繕、典礼、行事、広報、財務、布教、要理

〔3〕各グループ 1 月分連絡・報告事項

1. 財務 G… 決算、予算のトピックス説明

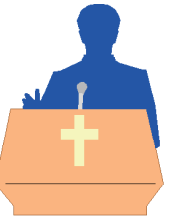
〔06 年度決算〕

・月定献金収入は対予算 94 % なるも、祭儀献金、特別献金等により全体収入は対予算 102 % となり計画を達成



お母さん、わたしが買ってあげる

ぱうろ たかの てつお



ときどき、子供たちが僕の世話を焼いてくれるときがある。僕を見ていて放っておけないと感じるのだろうか。親切に丁寧に教えてくれたり手伝ってくれたりする。その時、僕の心は温かくなるのだ。その時の子供たちの顔を見ると光り輝いていて、なんとも良い顔をしているのだ。僕の方がその子供たちの子供になったような気持ちになる。僕の親になった瞬間だ。

いつの事だったろうか忘れてしまったが、買い物に行った時の事だ。文房具売り場で何気なく眺めていると、私の隣で母親と娘が、同じように商品を眺めながら二人で話をしていた。その娘は小学生高学年ぐらいだったと思う。母親に話しかけながら、自分が気に入る物を探している様子だった。その娘の話を母親は聞いているのだろうか。ときどき返事はするが、視線は娘には向けず、商品に釘付けである。しばらくして、母親の視線がある商品に留まった。手が伸び、その商品を手にとると、母親は食い入るようにその商品を見つめていた。それを見ていた娘は何をしたか？・・・「お母さん！・・・何見ているの？・・・聞いているの！？」とは言わなかった。

娘は、その母親の姿を見るや、自分のカバンから財布を探して取り出すと、・・・「お母さん、それ欲しいの？・・・私が買ってあげる・・・買ってあげるから」と言いながら、自分の財布の中を覗き込んでいるのである。母親は、その娘を見ることもなく、「いいわよ・・・」と言いながら手に持った商品を元に戻し、その場から去ろうとした。娘は、「買ってあげるから・・・」と言いながらも母親の後を付いて行き、二人とも僕から離れていってしまったのだ。

僕は、驚いた。想定外だった。自分では考えられない事だったからだ。・・・不思議だ・・・家庭での教育が行き届いているからなのだろうか。・・・でも・・・

悲しみを背負いながらも、創造主である、生命の源である神の似姿として創られた人間。交わり、与えることを本性に持ち、愛そのものである神の似姿である人間。母親を愛するが故に自然に現れた姿なのだろうか・・・。しかし、その愛はどこに届いたのか。・・・あの時、僕はそんな事を考えもしなかったが、なんとも言えないもどかしさを感じながら、二人の後姿を眺めていたように思う。

そして、僕も言われるのだ。「・・・話、聞いてなかったでしょ！」と・・・

交わりの中で生きたいと思いながらも、自分の世界に閉じ込められている人間の悲しみを感じながら、・・・そんな僕たちを、キリストは癒してくださる。そして言われるのだ。「ザアカイ、急いで降りてきなさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」と・・・



- ・建設会計に 100 万円移行したことを入れれば、一般会計の財務は 05 年度より改善
- ・教会自前で育てたお花を活用することなどの関係者努力により、祭儀費支出は対予算 71 % と大幅に改善
- ・他方、教育養成費などで予算編成と実績の間に大幅な乖離がある。着実な計画執行を願いたい。
- 【07 年度予算】
- ・一般会計、建設会計、愛の献金会計共に了承された。
- ・今後、会計処理のソフトを活用し手作業を改善していく
- 2. 典礼 G
- ・ 12 / 31 に典礼グループ全員ミーティングを実施
- ・聖体奉仕者の説明を実施
- ・ 1 / 5 典礼委員会の報告
- ・ 2 / 18 (日) 午後、中和田教会にてクリストファー教会との合同祈禱会
- 3. 行事 G
- ・各サブグループのリーダーと分担 (クリスマス、バザー、復活祭、敬老) を決めた。
- 4. 広報 G
- ・掲示板の利用方法について議論。
- ・ホワイトボード…教会内の各種連絡事項。事務グループが貼る
- ・中央 (大) …重要なお知らせ、教区内の行事、研修会等、右 1/3 は青年・子供対象のお知らせ
- ・右 (小) …その他の各種情報 (旅行、書籍、他)
- ・集会室内…各グループにて利用
- ・外…教会の顔になる情報。現在何も掲示がないが、必ず何か掲示する。
- 5. 宣教 G
- ・第 5 地区内で要理学校の連携を図る集まりがあり参加。
- ・要理グループ関係では、今年の堅信

06 年 1 月 委員会後記 下村委員長

〔06 年度総集編ー下半期分〕

前月号に引き続き、06 年度下半期分の委員会後記の総集編を掲載致します。

7 月は、中和田教会は昭和 49 年献堂で、昨年屋根・外壁の塗装をしましたが、傷みが進んでいる内装関係を、営繕グループが検討しております。その内容を「中和田教会営繕計画」として、皆様に紹介しました。

現在では、来年度早々には「出来る所から改善する」よう検討を重ねています。

二点目は、聖体奉仕者についての検討を報告いたしました。内容は、主任司祭より 6 月 18 日「キリストの聖体」ミサ説教時にお話いただき、委員会として、更にご理解いただくため、広報

なかわだに掲載する旨記しました。(9 月号に詳細を掲載した。)

三点目は教区でも話題になっております「月定献金の検討」を記しました。中和田の実情は、満 56 歳以上の世帯で

- 式は 6 名予定。母親が子供を年齢層で分け指導始めた。歌の指導も実施。
- 6. 福祉 G
- 7. 事務 G
- (a) 藤沢センター化に対する意見要望今後継続して検討。
- (b) 今年度審議事項のフォロー
- i. マリア会から引き継いだ寄付 (財務 G にて検討)
- ii. 教会案内係 (事務 G にて提案する)
- 尚 07 年度事務グループは現状下村、小山、七浦の各氏を予定。
- iii. 月定献金検討グループ進捗状況報告。財務 G にて中和田教会としてどうしていくべきか継続検討。

は 75 % の世帯に献金して頂いていますが、満 55 歳未満 (満 26 歳以上) の世帯では 14 % の世帯の献金に (数字上は) 止まっています。教区では「家庭事情を考えたうえで収入の 1 ~ 3 %」等とも言われています。中和田も、財務委員を中心に「プロジェクト・チーム」を立ち上げて検討してみることになっています。

(8 月は、委員会休み)

9 月は、皆様からいただいた「委員会後記」ならびに委員会に対する意見要望を集約いたしました。典礼に関するもの 2 件、教会設備に関するもの 2 件で、その内容を紹介しました。

二点目は、毎週土曜日 (初金の翌日は除く) 行われています教会内掃除について、「教会内掃除メンバーの募集」と「男性参加」を呼びかけました。

10 月は、「委員会後記」ならびに委員会に対する意見要望」の対応・回答について記載いたしました。

二点目は、9 月に引続き「教会内掃除」にご協力をお願いいたしました。

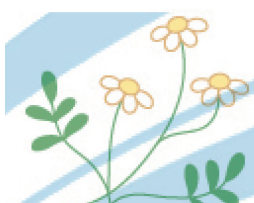
11 月は、教区の指導に合わせ、「中和田カトリック教会委員会運営規定」を改定いたしました。

内容は、第五地区活動への協力・活動への積極参加のため、「典礼・宣教・福祉」の奉仕を整理した委員構成に変更しました。

二点目は「教会委員公募方法の変更」の件では、「委員長・副委員長」は公募とし、「各委員」は、グループ活動が活発化していることから「各グループ推薦」といたしました。

尚、この内容につきましては、「2007 年度信徒大会」で報告説明いたします。





「荷物持ちましょうか」と言った子

森 脇 信 行

先日、私は左足を痛めて足を引きずって生活をしていました。痛い足を引きずって授業のための職員室から教室や理科室への移動は結構つらいものがありました。

そんな時、ちょうど職員室から理科室に荷物を持って移動しているときに後ろから「先生。足どうされましたか。荷物持ちましょうか。」と声をかけられました。振り返ってみると、声をかけてくれたのは私が授業を持っていない他学年の女子生徒でした。私はほんの一瞬、とっさのことで自分のことかどうかわからなく、状況をすべて理解するのに1秒くらいかかってしまいました。あわてて「ありがとう。だいじょうぶだよ。」と答えると、その生徒は「おだいじに」と言って去っていきました。その生徒が去ってしまってから、私はその生徒の優しさをしみじみと感じました。

それにしても、このような細やかな心づかいで私の気持ちに潤いを与えてくれる、そう考えると、その生徒の自然な声掛けは決して些細なことではないように思えてくるのです。もしかしたら、学校やもう少し大きく考えてこの世の中を明るくしてくれるのはこういった心づかいなのかもしれません。

私自身、自分のことを知らないだろうと思われる人に対して、あのような声掛けができるだろうか。……しばらくして、今度は自分自身を振り返ってみました。私が心を動かされたのは確かにあの一瞬、私のことを思ってくれた。親切にしてくれた。そういう人柄の優しさを感じたからなのです。その生徒は自分がそのようなことをしたと意識はしていないでしょう。それどころかそんなことがあったことを忘れているかもしれません。

私は他人に親切にされるとうれしいです。でも、それは誰でも同じはずです。それならば、私は一人でも多くの人に喜ばれる存在でありたい。嫌がられたり、恐れられたりすることにならないようにしたい。親切にしたい。そう思うのです。しかし、私はあの生徒のように自然に、ごく自然に人に親切にしているだろうか……。また、あの生徒は、いつでもどこでもああなのだろうか。いつでもどこでも100%は無理だろうけど、きっと、そうであることが多い生徒なのだろう。などいろいろなことを考えているうちに、だんだん“そうであることが多い人”になることが大切なのだと思えてきました。いつでもどこでも100%は無理でも、“そうであることが多い人”ならば、私にも十分目指すことができるだろう。と思いました。

そういえば、以前ラジオで横浜市営地下鉄が全席優先席宣言をしてから、席を譲る人が減ったのではないかという内容のFaxを紹介していました。全席優先席宣言をしたことによって自分が優先席に座っているという自覚がなくなった。あるいは誰か他の人が変わるだろうという気持ちを持ってしまう。などとラジオでは解説していましたが、それは、とても寂しいことだと思います。逆に解釈すれば優先席に座っていない人は席を譲らなくても良いということになります。これでは、本来の目的とは逆になってしまうと思います。私が理科室前で出会った生徒のように優しい気持ちで人に接することができる人こそ、今、求められているのだと思います。

一瞬の出来事でしたが多くの事を考えさせられた瞬間でした。

下村前委員長の後を受け、このたび教会委員長を仰せつかりました小野です。個人的なことではありますが、東京から横浜に移り住んでからいつの間にか25年、恥かしながらいまだに信じている低空飛行を続けて来た小生がまさかこのようにお役を頂くとは夢に思いませんでした。中和田教会の運営に力を尽くす所存でおります。何卒宜しくお願い申し上げます。

皆様のご認識の通り、教区、小教区の運営も大きな変革の潮流の中にあり、司祭中心の運営から司祭一修道者一信徒の謂わば“三位一体型”の運営に変わろうとしております。当然ながら我々信徒の認識や行動も、根底から大きく変わっていかなくてはなりません。是非、我々が目指す「地域に密着した“開かれた教会”」を能書き倒れではなく、本当に実現する為に皆様の積極的なご参画をお願い申し上げます。

中和田教会の運営の仕組みは、幸いにして下村前委員長の強力なリーダーシップのもとで、旧来のヨゼフ会／マリア会中心の運営から、役割ごとに編成された各担当グループを軸にした運営体制に変わります。既に新体制での活動が本格化しております。この流れを更に加速、定着化すると共に、仕組みのみならず信徒としての「意識を変革」する為にも皆様のご協力が必要です。言葉を変えれば、これからは『教区、小教区などのカトリック共同体が個々の信徒に何をしてくれるのか』ではなく、逆に『我々個々の信徒が、共同体の為になにが出来るか、何が貢献出来るか』ということを強く意識して進まなければならないと感じております。

重ねて、皆様のご参画、ご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶

小野 雅彦

2007 年度中和田教会信徒大会： 議事録

- 日時： 1月28日（日） 10:00am – 12:00am
- 出席者： 47名出席
- 開会宣言&祈り（竹内さん）
- 主任司祭 鈴木神父挨拶
 - 教区の指導、考え方が、司祭中心の運営から「三位一体型」の運営、即ち、司祭、修道者、信徒が一致協力して運営していく方式に変革して来た。第5地区としての活動もこの流れの上にある。
- 下村委員長挨拶
 - ＜詳細は4頁『この一年を振り返って』参照＞
- ◎ 信徒大会の議事に入ることに先立ち、（教会委員会運営規定に基づいて）議長が竹内さんから下村委員長に交代
- 2006 行事報告： 配布資料にて説明（山本さん）
- 2006 決算報告： 配布資料にて説明（甲斐さん）
 - 一般会計：
 - ◇ 月定献金対予算 94% の実績、
 - ◇ 祭儀費、行事費、節約努力の結果が出ている、
 - ◇ 布教教育養成 大幅未達、
 - ◇ 建設会計へ一定額移行、など
 - 建設会計：
 - ◇ 上記一般会計からの入金、旧マリア会特別献金など
- 2006 会計監査報告： 監査人を委嘱された上野さんより、監査の結果、問題なきこと確認を確認した旨宣言
- 2007 行事予定： 配布資料に基づいて説明（山本さん）
 - ◇ 2007 年度の行事の目玉としては、6/10 に行われる堅信ミサ、祝賀会（梅村司教をお招きする）
- 2007 予算説明： 配布資料に基づいて説明（甲斐さん）、
 - ◇ 活動強化に連動して布教・教育養成費を大幅増額した（研修参加、一粒会大会参加、福祉活動、など）
 - ◇ 建設会計にて、聖堂修理、設備更新で5百万円を見込む
- Q&A：
 - ◇ (Q): 敬老の祝いで5万円は多過ぎる、減額すべし
 - ◇ (A): 取敢えず予算化した。委員会でも敬老に関する考え方の見直しを議論している。
- 月定献金に関する課題提起：
 - ◇ 総じて、中和田教会の維持管理には、信徒一人あたり3,400円かかっている勘定になる。月定献金額の目安としてお考え頂きたい。（甲斐さん）

◇ 50歳台以上の世帯では概ね70%が月定献金を納付しているが、それ以下では10%程度の納付率。まずはこの辺から問題を掘り下げる必要があると、財務グループでは考えている。

- Q&A：
 - ◇ (Q): 会計の掲示板を作りなさい。重ねてお願いする。
 - ◇ (A): 献金については「広報なかわだ」などでも、従来よりいろいろお願いして来ているが、ご提案の内容も今後検討していく。

- 2007 年度委員の紹介（福島副委員長）
 - 委員長（小野）、副委員長（福島）、典礼委員（竹内）、宣教委員（井上、竹内）、行事委員（花坂、石川）、広報委員（岩渕）、財務委員（山田、甲斐）、福祉（山本）
- 中和田カトリック教会委員会運営規定改定と教会委員公募方法の変更の説明（下村さん）：
 - ◇ 公募の件：委員長／副委員長は公募したが、立候補はゼロであったこと、
 - ◇ 2007 年度は女性副委員長空席の状態ですスタートせねばならないこと、
 - ◇ 規定の改定で、グループの位置づけを明確に記載したこと、
 - ◇ (前述の通り)「布教」と「要理」をまとめて「宣教」としたこと、... など

- 各グループからの報告：（特記事項のみ）
 - 営繕（福島さん）： 経過報告に加えて、補修計画を配布資料に基づいて説明、とくに聖堂関係を6/10の堅信ミサに間に合わせるべく急ぎたいので、承認を頂いて直ぐ取り掛かりたい。加えて、お掃除当番（4グループ）編成への協力を願いたい
 - 財務（甲斐さん、山田さん）： 従来より財務は甲斐さん、山田さんの2委員体制であるが、07年度からは山田さんを軸に業務を行っていく
 - 典礼&布教（竹内さん）： 配布資料に基づき、一粒会についても併せて報告
 - 広報（岩渕さん）： 日頃の広報なかわだの原稿を、信徒の皆さんに提供、協力頂いていることに謝意表明
 - Q&A
 - ◇ 叙階記念、霊名の祝日、等

- ◎ 以上の、報告事項、ならびに審議案件は出席者の拍手をもって承認された。

- 新旧委員長挨拶（下村、小野）
- 閉会の辞&祈り（竹内さん）

